

## VIII - 5 「宗谷ふれあい公園」における民間活力導入の基本的な考え方イメージ

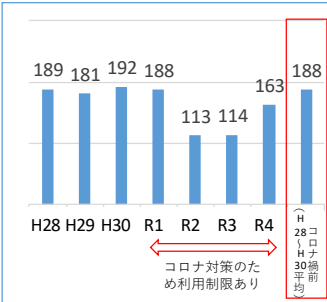
### 1 公園の現状と課題

・日本最北端に位置し、「未来への北方圏交流拠点の形成」というコンセプトで建設が進められ、屋内遊技施設のあるビジターセンターを中心にスキー場やパークゴルフ場、オートキャンプ場が整備されている。

#### (1) 公園の概要

所在地	稚内市声間5丁目40番1号
公園種別	広域公園
面積	65.3ha
主な施設	ビジターセンター（屋内遊具）、オートキャンプ場
供用開始	平成10年7月

#### (3) 年間利用者数（千人）



#### (2) 利用目的

利用目的	キャンプ、パークゴルフ
利用形態	家族連れ

#### 【公園の課題】

・公園周辺に食事が出る場所がビジターセンターの売店しかないため、来園者、キャンプ場利用者の更なる満足度向上のため、飲食等ができる施設が必要

### 2 民間活力導入の基本的な考え方

【目指す公園像】 「未来への北方圏交流拠点の形成」をコンセプトに、豊かな自然が体験できる公園

夏季は、屋外遊具、バーベキュー、キャンプを楽しむ家族連れや、パークゴルフ利用者が豊かな自然の中で楽しんでいる。そのため、疲れた利用者がゆっくり休憩や、食事ができるよう飲食機能の導入を検討する。

【求める機能】 ①飲食機能

#### 【民間活力導入時の留意点】

- ・園内既存施設（売店）との機能分担が必要である。
- ・冬季来園者が少ない。

### 3 民間活力導入による対応とイメージ

事業イメージ (案)

①飲食機能：冬季来園者が少なく、通年の施設は難しいことから、キッチンカー等、非固定型の飲食施設



### 4 想定エリア

エリア	現地の状況
A	ビジターセンター前で来園者のアクセスが良く、まとまった土地が確保出来る。
B	キャンプ場の利用者をターゲットに、飲食の提供が可能。

## VIII - 6 「ゆめの森公園」における民間活力導入の基本的な考え方イメージ

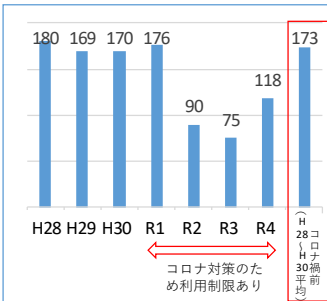
### 1 公園の現状と課題

・“道東の厳しい冬でも快適な遊び空間”をとの声を背景に、道内最大規模の屋内遊技施設やパークゴルフ場を整備し、四季を通じて遊び・学び・人と自然にふれあえる公園である。

#### (1) 公園の概要

所在地	標津郡中標津町北中2番5号
公園種別	広域公園
面積	54.2ha
主な施設	ビジターセンター（屋内遊具）、パークゴルフ、バーベキュー
供用開始	平成12年7月

#### (3) 年間利用者数（千人）



#### (2) 利用目的

利用目的	屋内遊戯、パークゴルフ
利用形態	家族連れ

#### 【公園の課題】

・ビジターセンターに食堂はあるが、来園者の更なる満足度向上のため、店舗型に限らず、バリエーション豊富な飲食等ができる施設が必要

### 2 民間活力導入の基本的な考え方

【目指す公園像】 四季を通じて、遊び、人と自然にふれあう「恵み豊かな大地に浮かぶアミューズメントランド」

屋内・屋外遊戯施設利用者や、自然を散策している利用者が休憩できる飲食機能（キッチンカー等）の導入を検討する。

【求める機能】 ①休憩場所となる飲食機能

#### 【民間活力導入時の留意点】

- ・園内既存施設（食堂・売店）との機能分担が必要であるため、キッチンカー等、非固定式の店舗の検討が必要。

### 3 民間活力導入による対応とイメージ

事業イメージ (案)

①飲食機能：キッチンカーでの飲食機能



### 4 想定エリア

エリア	現地の状況
A	メイン駐車場に隣接し、利用者がアクセスしやすい。
B	イベント時にあわせて、キッチンカーの配置が可能。

## VIII - 7 「道南四季の杜公園」における民間活力導入の基本的な考え方イメージ

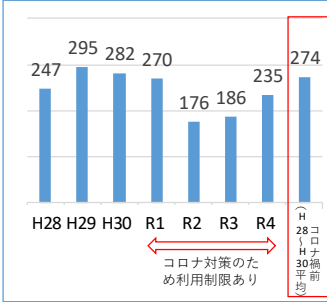
### 1 公園の現状と課題

・函館市街と津軽海峡を望む丘陵地に建設。「現代の里山の復活」をキーワードとして整備し、四季を通じて樹木・草花や小川とふれあえる、野外レクリエーション空間である。

#### (1) 公園の概要

所在地	函館市亀田中野町199-2
公園種別	広域公園
面積	65.1ha
主な施設	屋内外遊具、ガーデン
供用開始	平成15年7月

#### (3) 年間利用者数(千人)



#### (2) 利用目的

利用目的	屋内外遊戯、バーベキュー、自然散策、ガーデン鑑賞
利用形態	家族連れ、個人利用者

#### 【公園の課題】

・駐車場の一部に利用頻度の低い場所がある。  
・函館市街等を一望できる立地を活かし、来園者の更なる満足度向上のため、飲食等ができる施設が必要

### 2 民間活力導入の基本的な考え方

#### 【目指す公園像】 人と自然の共生をテーマに「生きた自然」を身近に感じる公園

ガーデンの鑑賞をはじめ、屋内外遊戯施設利用者、デイキャンプ利用者等が、展望の良いという利点を活かすなどして、自然の中でゆっくりと休憩、リフレッシュできる飲食機能の導入を検討する。

#### 【求める機能】

- ① 飲食機能
- ② 飲食売店機能

#### 【民間活力導入時の留意点】

・園内既存施設(売店 [R5.5現在人員不足で休止中])との機能分担が必要である。  
・下水道未整備地域。

### 3 民間活力導入による対応とイメージ

#### 事業イメージ(案)

- ① 飲食機能: 利用者の休憩の外、函館市街、津軽海峡を望む立地を活かし、展望機能を持つカフェや軽食を提供する施設
- ② 飲食売店機能: 地域の物品販売や飲食施設が少ないことから、移動販売車やキッチンカー等の施設



### 4 想定エリア

エリア	現地の状況
A	一部が芝生の駐車場。利用頻度は低く、眺望がよい。
B	休憩施設である「里の舎」。トイレ、炊事場を備えている。
C	駐車場の近くでスペースもあり、来園者のアクセスが良い。
D	バーベキュー広場付近。キッチンカー出店の実績あり。

## VIII - 8 「十勝エコロジーパーク」における民間活力導入の基本的な考え方イメージ

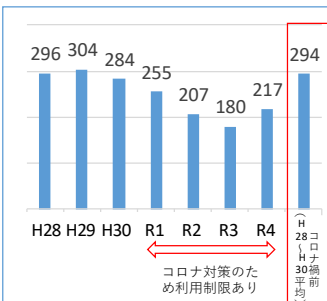
### 1 公園の現状と課題

・十勝川温泉に隣接して整備された公園で、十勝全域に存在する緑やレクリエーション施設をネットワーク化しながら豊かな環境づくりの出発点となることを目指している。

#### (1) 公園の概要

所在地	河東郡音更町十勝川温泉南18丁目1番地
公園種別	広域公園
面積	140.9ha
主な施設	キャンプ場、カフェ、屋外遊具
供用開始	平成15年7月

#### (3) 年間利用者数(千人)



#### (2) 利用目的

利用目的	キャンプ、屋外遊戯
利用形態	家族連れ

#### 【公園の課題】

・ビジターセンターに食堂はあるが、来園者の更なる満足度向上のため、バリエーション豊富な飲食等が提供できる施設が必要  
・研修機能の充実に向け「土のフォーリー」、「コテージドーム」の活用を検討

### 2 民間活力導入の基本的な考え方

#### 【目指す公園像】 「環境の保全と育成・人と自然の共生」を整備理念とし、環境教育や市民活動の拠点となることを目指す。

河畔林や草原、そこに生息する生き物たちと行うレクリエーション活動は、この公園の魅力である。そのため、キャンプや、遊具を利用する家族連れが休憩できる飲食機能のほか、自然を活かした研修ができる施設の導入を検討する。

#### 【求める機能】

- ① 休憩場所となる飲食機能
- ② 研修機能

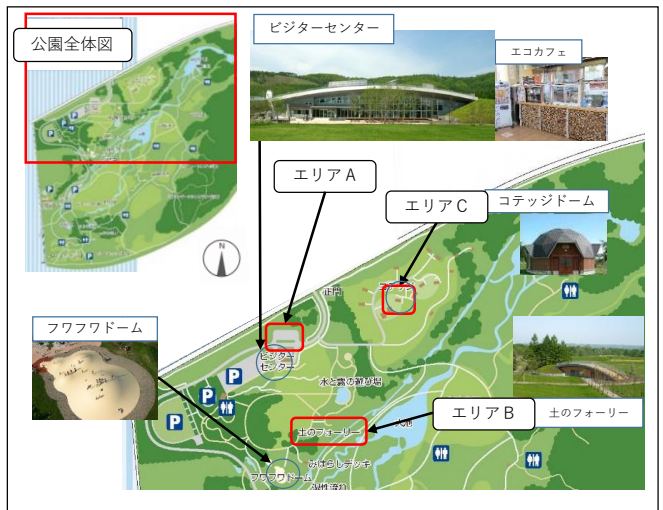
#### 【民間活力導入時の留意点】

・園内既存施設(食堂・売店)との機能分担が必要であるため、キッチンカー等、非固定式の店舗の検討が必要。  
・公園の一部が河川敷地となっており、当該敷地内での行為は河川法の適用を受ける。

### 3 民間活力導入による対応とイメージ

#### 事業イメージ(案)

- ① 飲食機能: キッチンカーでの飲食機能
- ② 研修機能: 自然を活かした研修やワークショップが行える研修室



### 4 想定エリア

エリア	現地の状況
A	メインの駐車場に隣接し、利用者がアクセスしやすい。
B	研修やワークショップに適した施設(土のフォーリー)がある。
C	研修やワークショップに適した施設(コテージドーム)がある。

## VIII - 9 「噴火湾パノラマパーク」における民間活力導入の基本的な考え方イメージ

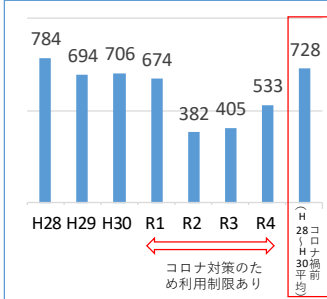
### 1 公園の現状と課題

・八雲パーキングエリアに隣接し、小川・樹林・農地・花畑などを利用し、人と自然、人と人との体験交流を行う場として整備された。

#### (1) 公園の概要

所在地	北海道八雲町浜松368番地8
公園種別	広域公園
面積	54.6ha
主な施設	キャンプ場、屋内外遊具
供用開始	平成18年6月

#### (3) 年間利用者数(千人)



#### (2) 利用目的

利用目的	キャンプ場、屋内外遊具
利用形態	家族連れ

#### 【公園の課題】

- ・パノラマ館周辺以外には、飲食を購入できる場所が少ないため、来園者の更なる満足度向上のため、「ふれあい館」周辺で飲食等ができる施設が必要
- ・高速道路利用者の一時休憩にとどまり、公園の利用につながっていない。

### 2 民間活力導入の基本的な考え方

【目指す公園像】「すてきな風景と出会う、体験と交流の丘」をコンセプトに、お子様からご年配の方まで、楽しめる公園

地域情報提供や物産販売、軽スポーツ、屋外遊戯、オートキャンプ、パークゴルフなど充実した設備が整っている。パークゴルフ場周辺施設の利用者が食事ができる施設の導入を検討する。

#### 【求める機能】 ①飲食機能

【民間活力導入時の留意点】

- ・園内既存施設(食堂)との機能分担が必要である。
- ・パークゴルフ場や屋外遊戯施設が営業している季節のみの営業が想定されるため、キッチンカー等、非固定式の店舗の検討が必要。

### 3 民間活力導入による対応とイメージ

事業イメージ(案)

①飲食機能: キッチンカーでの飲食機能



### 4 想定エリア

エリア	現地の状況
A	ふれあい館周辺は飲食の提供が少ない。
B	パノラマ館周辺は、八雲P Aを訪れる者の利用が見込まれる。

## VIII - 10 「サンピラーパーク」における民間活力導入の基本的な考え方イメージ

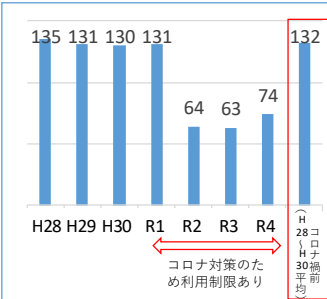
### 1 公園の現状と課題

・名寄市街地を南西に臨む丘陵地に位置し、なつかしい風景づくりや心が癒やされる環境づくりが行われた。また、北方型スポーツの拠点として、カーリング場なども整備されている。

#### (1) 公園の概要

所在地	名寄市字日進147番地
公園種別	広域公園
面積	63.1ha
主な施設	屋内・屋外遊具、カーリング場
供用開始	平成18年11月

#### (3) 年間利用者数(千人)



#### (2) 利用目的

利用目的	屋内・屋外遊戯、カーリング
利用形態	家族連れ、競技者

#### 【公園の課題】

- ・サンピラー交流館内でパンや飲食物は販売しているが、来園者の更なる満足度向上のため、飲食等ができる施設が必要

### 2 民間活力導入の基本的な考え方

【目指す公園像】「北のふるさとを創る」を整備理念とし、魅力的な公園空間を目指す

森林・水・草原・花畑などがひろがる自然豊かな公園空間となっており、それぞれに特徴のある3つのエリアと11のゾーンがある。冬季にはカーリング施設もオープンし、その利用者が食事をできる施設の導入を検討する。

#### 【求める機能】 ①飲食機能

【民間活力導入時の留意点】

- ・園内既存施設(売店)との機能分担が必要である。

### 3 民間活力導入による対応とイメージ

事業イメージ(案)

①飲食機能: キッチンカーでの飲食機能  
②飲食機能: レストラン、カフェ



### 4 想定エリア

エリア	現地の状況
A	ふわふわドーム、ストリートスポーツ広場周辺は利用者で賑わっている。
B	「花の丘レストハウス」は、駐車場を有し眺望が良い。

# VIII - 1 1 「オホーツク流水公園」における民間活力導入の基本的な考え方イメージ

## 1 公園の現状と課題

・紋別空港に近接したオホーツク海沿岸部に位置し、気軽にみどりと親しみ四季を通じて、オホーツクの風景を感じる場として、地域の特性を活かした公園づくりを行っている。

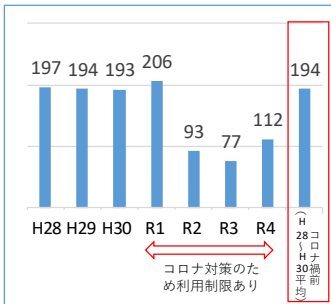
### (1) 公園の概要

所在地	紋別市元紋別101
公園種別	広域公園
面積	59.3ha
主な施設	屋内・屋外遊具、パークゴルフ
供用開始	平成21年11月

### (2) 利用目的

利用目的	屋外遊具、パークゴルフ
利用形態	家族連れ

### (3) 年間利用者数(千人)



### 【公園の課題】

- ・緑豊かな自然の中で来園者が、近くで購入した食事を食べるなど、利用者のさらなる満足度向上のため、飲食等を購入できる売店が必要
- ・オホーツクの風景を体感できる施設が必要

## 2 民間活力導入の基本的な考え方

### 【目指す公園像】

「流水を望み、潮騒が聞こえる、大いなる風景、緑豊かな手づくり公園」をテーマとして、日常的な交流の場や目的に応じた趣味・体験・学習の場

オホーツク紋別空港の国道を境いとする海側に位置し、「楽しみの場所、にぎわいと参加の場所、のんびりする場所、ながめる場所」4つのブロックに分け、パークゴルフ等が整備されている、その利用者が飲食物を購入し、食事をしたり自然を体感できる施設の導入を検討する。

### 【求める機能】

- ①休憩機能付きのコンビニエンスストア
- ②オホーツクの風景を体感できる施設

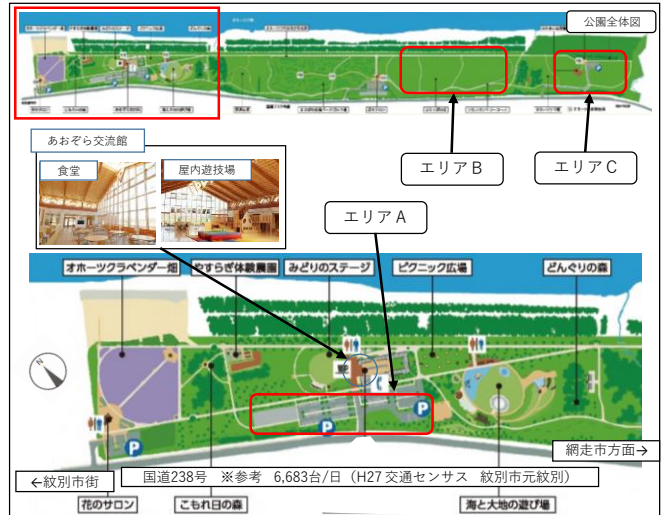
### 【民間活力導入時の留意点】

- ・園内既存施設(食堂)との機能分担が必要である。

## 3 民間活力導入による対応とイメージ

### 事業イメージ(案)

- ①飲食機能：来園者、パークゴルフ場利用者及び一般利用者が食事や飲食物を買う事ができるコンビニエンスストア等
- ②宿泊施設：オホーツクの風景を体感できるキャンプ場



## 4 想定エリア

エリア	現地の状況
A	国道沿いであり、青空交流館とも近く、公園利用者、国道利用者の利用が見込まれる。現在ドックランで使用している。
B	まとまった土地が確保でき、付近にトイレ(丘のサロン)がある。
C	まとまった土地が確保でき、付近にトイレ(海のサロン)がある。